

令和5年度 南薩保健医療圏域 医療・介護合同会議 開催報告

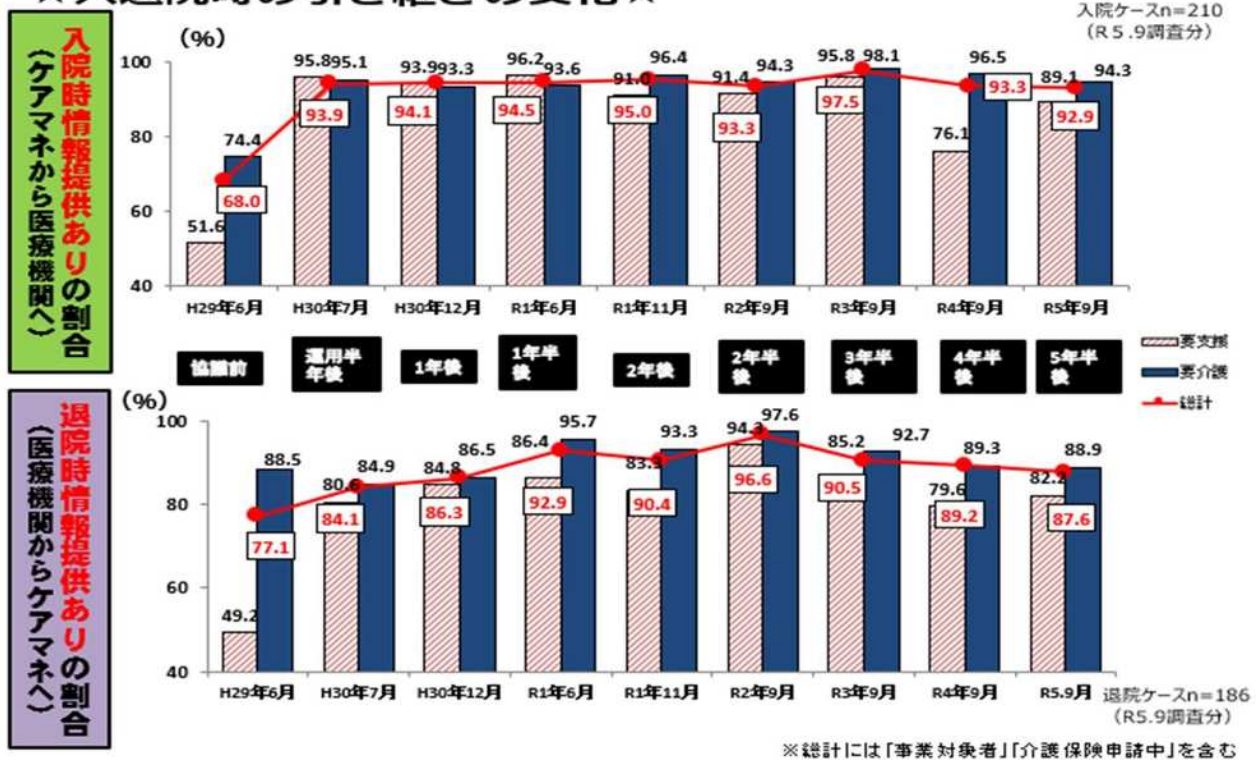
「南薩保健医療圏域入退院調整ルール」の運用状況を点検し、改善点等を検討するため、開催しました。

時期	令和6年1月18日
場所	サテライト開催(加世田保健所, 枕崎市民会館, Coccoはしむれ, 知覧文化会館)
参加者	計108名(医療機関 40名, 介護支援事業所 52名, 行政 16名)
内容	<p>(1)報告:令和5年度入退院調整ルール運用状況調査の結果について(令和5年9月実施分)</p> <p>(2)説明:情報提供シートの様式変更について</p> <p>(3)講演:医科歯科介護連携の強化について 講師:鹿児島県歯科医師会医療介護連携委員会 委員長 平田晃士 歯科医師</p> <p>(4)グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の連携の中での歯科に関する連携について ・運用状況調査の結果からそれぞれが抱える課題等について



1. 令和5年9月運用状況実態調査の報告 ※調査用紙の回収率:事業所97.0%, 医療機関83.7%

★入退院時の引き継ぎの変化★



入退院調整ルールが定着してきましたが、退院時のつなぎ漏れが増えています。

- ◎入院時(ケアマネ→医療機関)の引継ぎ率は、**90%以上をキープ**していました。
ケアマネから医療機関への引継ぎは、入院3日以内に**82.6%**が行われています。昨年より低下しました。
入退院調整ルールでは、入院後3日以内の情報提供を目安としています。
- ◎退院前(医療機関→ケアマネ)の引継ぎ率は、昨年に引き続き**90%を下回**っていました。
退院7日以上前に連絡した割合は、**34.4%**と**1.5ポイント増加**しました。
入退院調整ルールでは、退院7日以上前の情報提供を目安としています。
退院が決まったら早めに連絡をお願いします。

★南薩地域振興局ホームページ内に南薩保健医療圏域入退院調整ルールを掲載しています。★
【掲載内容】様式1「入院時情報提供シート」、様式2「退院支援情報共有シート」、参加医療機関の窓口
・令和5年度医療・介護合同会議資料、これまでのメンテナンス会議のまとめ 等

2.情報共有シートの様式変更について

変更(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅主治医」の項目に、「歯科医療機関」を追加し、かかりつけ歯科医を記入する。 ・「口腔清潔」の項目に、「義歯の適応状況」や「口腔内の衛生状況」を追加。 ・「食事」の項目にあった「嚥下障害の有無」を「口腔清潔」の項目に移動。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアについて記載できるようになり、ケアマネの口腔への視点にも繋がる。 ・口腔の情報が多くなり、お互い注意してアセスメントするタイミングになると思う。 など

3.医科歯科介護連携の強化について

講話の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内の健康は全身と繋がっている。 ・顎の筋力低下など、外見だけでは見えないため、口腔内も見る。 ・医療機関、在宅、施設など、それぞれが対象者の口腔状態、口腔ケアの状況を共有しあい、口腔からフレイル予防等に努めていく必要がある。
感想	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の大切さを再確認できた。 ・口腔についての意識が高まった。 ・歯科についての連携の必要性を感じた。 ・口腔ケアについてのケアプランの内容も考えていきたい。

4.グループワーク

①医療と介護の連携の中での歯科に関する連携について

- ・入退院の調整で歯科のやりとりは今までなかった。
- ・ケアプランの中にはいれているが、口腔までは確認できていない。
- ・関心のない方も多く、受診へつなげるのは難しい。
- ・歯科医師と加算のとれる連携やメールを利用して、早めの受診も勧めている。
- ・地域ケア会議での歯科衛生士のアドバイスがとても参考になる。
- ・どこの先生が歯科の訪問診療をしているか、把握できていない。

②運用状況調査から出た課題について

医療機関	<p>認知症高齢者(独居、夫婦のみ)でキーパーソンがいない場合の連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館長や民生委員、包括支援センターに連絡相談している。 ・市長同意や後見人をたてる。
事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関内の連携室と外来窓口の連携について、連携室がない医療機関ではケアマネとの連携がスムーズにいかない。 ・長期入院中の状況把握については、3ヶ月の経過、1ヶ月の状況などの連絡が欲しい。 ・情報共有の手段にメールを活用する事について、支障はない。コミュニケーションがあった方がいい。 ・医療機関による退院時の住宅訪問は、ケアマネも同行訪問し様子を見たい。利用者も同行して欲しい。

※事業参加医療機関は43か所です(令和5年9月末現在)

【枕崎市】

ウエルフェア九州病院、尾辻病院、小原病院、久木田整形外科病院、サザン・リージョン病院、立神リハビリテーション温泉病院、枕崎市立病院

【指宿市】

今林整形外科病院、赤崎病院、伊藤記念病院、指宿浩然会病院、指宿さがら病院、指宿竹元病院、指宿医療センター、西田病院、山川病院、生駒外科医院、指宿脳神経外科、上村内科クリニック、開間クリニック、木之下クリニック、肥後内科クリニック

【南さつま市】

阿多病院、有馬病院、加世田病院、県立薩南病院、真愛病院、南さつま市立坊津病院、南さつま中央病院、アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町、小山クリニック、徳久整形外科、友松内科クリニック、宮内クリニック、唐仁原内科クリニック

【南九州市】

川辺生協病院、菊野病院、こだま病院、中村温泉病院、南薩ケアほすびたる、南九州さくら病院、笹川医院、青木医院



これからも、メンテナンス協議を続けていきましょう！住民が地域や家庭で生きがいを持って、すこやかに安心して暮らせるよう、入退院調整ルールを運用し、切れ目ない支援をしていきましょう！